

# 公益財団法人渥美国際交流財団 2018年度事業計画

事業年度（2018年4月1日～2019年3月31日）

## ■留学生の奨学事業【公1】（公益目的事業1）

### ➤ 奨学金支給（33,100千円）

#### (1) 渥美奨学金の支給（30,600千円）

第24期奨学生12名に月額20万円の奨学金を支給する。

また、第23期奨学生1名に9月間支給（奨学期間は2018年1月～12月）

毎月個々又はグループで、奨学生を事務局等に招き、学業の進行状況や生活環境等について話し合った上、銀行小切手で支給する。

#### (2) 博士号取得者の海外学会参加者奨学金（1,500千円）

渥美奨学生で博士号を取得した者に、海外で開催される学会等に参加するための旅費・宿泊費等を支給する。但し、海外に居住する者は、日本への旅費等に充当することができる。（30万円を上限とする）

#### (3) 元奨学生を対象とした継続支援奨学金（1,000千円）

奨学金支給期間に博士号を取得できず、現在も研究を続けている者で、経済的困窮度の高い者に、奨学金を支給する。

### ➤ 募集選考（950千円）

#### (4) 2019年度第25期奨学生（12名）の募集・選考（950千円）

7月1日 募集要項配付開始（各大学院に送付・ウェブに掲載）

9月1日 応募受付開始

9月30日 応募締め切り

10月中旬 予備書類選考

11月上旬 予備面接

12月2日 最終選考会

☆海外の大学院で博士号を取得するために1年間日本で調査研究をする人の応募を奨励する。海外在住者の場合には、応募手続きは一般応募者と同じだが面接はスカイプで行う。合格した場合には、往復旅費を追加支援する。

➤ 生活支援 (2,200 千円)

(5) 月例会 (2,000 千円)

① 毎月の交流会 (\*財団理事・評議員・選考委員との交流会) (850 千円)

- 4月 2018 年度奨学生最初の食事会
- 5月 個別面談
- 6月 評議員会後の親睦会\* (6月7日、鹿島 KI ビル)
- 7月 蓼科ワークショップ (②参照)
- 8月 真夏のバーベキュー (渥美財団ホール)
- 9月 個別面談
- 10月 2018 年度奨学生食事会
- 11月 未定
- 12月 個別面談
- 1月 新年会
- 2月 国際文化会館 APYLP に参加
- 3月 研究報告会 (3月3日、渥美財団ホール) \*
- 3月 2018 年度奨学生食事会

② 蓼科ワークショップを開催 (1,150 千円)

日時：2018 年 7 月 6 日 (金) ~ 8 日 (日)

会場：蓼科高原チェルトの森 大興蓼科山荘

(6) フォローアップ事業 (200 千円)

- ① 最初の食事会 (4 月)、蓼科ワークショップ (7 月)、真夏のバーベキュー (8 月)、新年会 (1 月)、国際文化会館 APYLP (2 月)、研究報告会 (3 月) に元奨学生を招待。
- ② その他適時世界各地でラクーン会 (同窓会) を開催

■留学生を通じた国際交流事業 (SGRA の活動) 【公 2】 (公益目的事業 2)

➤ 学術交流プロジェクトの開催

(7) 第 4 回アジア未来会議を開催 (56,500 千円)

日時：2018 年 8 月 24 日 (金) ~ 28 日 (火) (到着日と出発日を含む)

テーマ：「平和、繁栄、そしてダイナミックな未来」

会場：ソウル市 The K-Hotel

共催：韓国社会科学協議会、(財) 未来人力研究院、

後援：文部科学省 (申請予定)、在韓国日本大使館 (申請予定)、

ソウルジャパンクラブ (日本商工会議所) (申請予定)

助成：国際交流基金アジアセンター (申請中)、東京倶楽部 (申請予定)

賛助寄附：日韓の企業各社

言語：日本語、英語、韓国語

参加者 (見込み)：500 人

- (8) 海外の研究機関等との共同プロジェクト (4,100 千円)
- ① 第 8 回日台アジア未来フォーラムを共催 (1,000 千円)  
テーマ：「グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性」  
日時：2018 年 5 月 26 日 (土)  
会場・協力機関：東呉大学日本語学科、東呉大学図書館  
外部資金：交流協会 (助成申請中)、中鹿營造(股)有限公司他 賛助 他  
言語：日中同時通訳  
参加者 (見込み)：100 人  
担当：張桂娥 (東呉大学)
- ② 第 12 回 SGRA チャイナ・フォーラムを主催 (500 千円)  
テーマ：近代映画の日中交流 (仮)  
日時：2018 年 11 月 24 日 (金) (予定)  
会場：人民大学  
協力機関：清華東亜文化講座、国際交流基金北京日本文化センター  
言語：日中同時通訳  
参加者 (見込み)：50 人  
担当：林少陽 (東京大学)、孫建軍 (北京大学)
- ③ 第 18 回日韓アジア未来フォーラムを共催 (600 千円)  
テーマ：未定  
日時：2019 年 1 月 予定  
会場：東京  
協力機関：韓国 (財) 未来人力研究院  
言語：日韓同時通訳  
参加者 (見込み)：30 人  
担当：金雄熙 (仁荷大学)
- ④ 東アジア日本研究者協議会第 3 回国際学術大会で 2~3 のセッションを主催 (1,200 千円)  
※セッションは元渥美奨学生を対象に公募する。  
日時：2018 年 10 月頃  
会場：国際日本文化研究センター (京都)
- ⑤ 持続可能な共有型成長セミナーの開催を SGRA フィリピンに委託 (500 千円)
- 第 26 回持続可能な共有型成長セミナー  
テーマ：「赤松要雁行形態論からの教訓」  
日時：2018 年 4 月または 5 月  
会場・協力機関：東京・未定  
言語：英語・日本語  
参加者 (見込み)：30 人  
担当：マックス・マキト (SGRA フィリピン代表)  
※その他、フィリピン大学ロスバニョス校と共催で 3~4 回開催予定

- ⑥ 第11回ウランバートル国際シンポジウムの開催を共催（300千円）  
テーマ：「キャプタとフレ―ユーラシアからの眼差し」  
日時：2018年8月30日～31日  
会場：モンゴル・日本人材開発センター多目的室  
協力機関：昭和女子大学国際文化研究所、モンゴル国立大学アジア研究学科、  
モンゴル科学アカデミー国際研究所  
言語：日本語・モンゴル・英語（日本語・モンゴルは通訳付き、英語は通訳なし）  
参加者：日本、モンゴル、ロシア、中国、韓国、台湾からの研究者100名  
担当：ボルジギン・フスレ（昭和女子大学）

(9) SGRA フォーラムの開催（4,000千円）

※SGRAの8つの研究分野

1. グローバル化と地球市民
2. 構想アジア
3. 環境とエネルギー
4. 科学技術と人間社会
5. 東アジアの人材育成
6. 東アジアの安全保障と世界平和
7. 宗教と現代社会
8. ジェンダーと社会

◇ 第59回 SGRA フォーラム@アジア未来会議

テーマ：「第3回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性：  
17世紀東アジアの国際関係―戦乱から安定へ―」  
日時：2018年8月24日（金）～28日（火）  
会場：ソウル K ホテル（第4回アジア未来会議のプログラムとして）  
言語：日中韓同時通訳付き  
共催：科学研究費新領域研究「和解学の創成」、早稲田大学東アジア国際関係研究所  
助成：東京倶楽部（予定）  
招待研究者：20人  
担当：李恩民（桜美林大学）

◇ 第60回 SGRA フォーラム@アジア未来会議

テーマ：「東南アジアにおける紛争解決への宗教の役割」  
日時：2018年8月25日（土）～26日（日）  
会場：ソウル K ホテル（第4回アジア未来会議のプログラムとして）  
言語：英語  
助成：国際交流基金アジアセンター（申請中）

◇ 第61回 SGRA フォーラム（1,000千円）

テーマ：「日本の高等教育のグローバル化」  
日時：2018年10月13日（土）  
会場：東京国際フォーラム（予定）  
言語：日本語

助成：鹿島学術振興財団（申請中）  
担当：沈雨香（早稲田大学）

◇ 第 62 回 SGRA フォーラム@国際文化会館 APYLP\*（3,000 千円）

テーマ：「再生可能エネルギー（仮）」

日時：2019 年 2 月上旬

会場：国際文化会館

言語：日英同時通訳付き

担当：朴准儀（ソウル大学）

\*国際文化会館のアジア太平洋ヤングリーダープログラム。日米のフェロウシップが連携して毎年 4 回フォーラムを開催する。SGRA はその内の 1 回の開催を担当する。

※2019 年度の SGRA フォーラムの企画案を、元渥美奨学生を対象に公募する。

(10) SGRA スタディツアーの実施（500 千円）

第 7 回 SGRA ふくしまスタディツアー

テーマ：未定

日時：2018 年 5 月 25 日（金）～27 日（日）

協力：認定 NPO 法人ふくしま再生の会

担当：角田英一（渥美財団）

(11) SGRA カフェの開催（300 千円）

首都圏在住の会員が気軽に集まり講師の話を伺い議論をする〈場〉

1～2 回開催予定

※元渥美奨学生を対象に公募する。

➤ 研究交流プロジェクトの成果等の発信

(12) SGRA レポートの発行（2,000 千円）

フォーラムの講演録の冊子本をレポートとして発行し、会員他に送付する。発行部数は各号 600～800 部。また、PDF 版をホームページに掲載する。2018 年度に 4 冊発行予定。

- ・ 第 82 号「蒙古襲来と 13 世紀のモンゴル帝国のグローバル化」
- ・ 第 83 号「アジアを結ぶ『一带一路』の地政学」
- ・ 第 84 号「東アジアからみた中国美術史学」
- ・ 第 85 号「北朝鮮開発協力：各アクターから現状と今後を聞く」

[レポート送付先]

- ・ 賛助会員と特別会員（顧問、講師、元渥美奨学生 他） 約 400 名
- ・ 国立国会図書館に納本（ISSN 1346-0382）
- ・ 鹿島建設資料室に納本
- ・ 国内大学留学生センター、図書館、メディア、政党等に納本 約 80 機関
- ・ 海外の日本研究センター、図書館等に納本 約 60 機関

(13) 多言語化プロジェクト (500 千円)

日本語で発行した SGRA レポートやかわらばんのエッセイを、英語、中国語、韓国語などに翻訳して発信する。学術ジャーナルへの掲載、単行本の出版、ホームページへ掲載など。

(14) SGRA かわらばんの配信 (500 千円)

世界各地の会員のエッセイと SGRA フォーラム等の案内を、毎週木曜日に電子メールで配信。配信先は 2200 人。

(15) JAANUS (英文による日本建築・美術用語のオンライン辞書) のテクニカルサポート (600 千円)

<http://www.aisf.or.jp/~jaanus/>

■上記公益目的事業の基盤整備 (1,800 千円)

(16) ホームページの管理運営 (500 千円)

渥美財団：<http://www.aisf.or.jp>

関口グローバル研究会：<http://www.aisf.or.jp/sgra/>

アジア未来会議：<http://www.aisf.or.jp/AFC/>

(17) 寄附金・助成金

- ① 書面による SGRA 活動賛助寄附依頼 (5 月～9 月)
- ② 賛助企業・寄附者を訪問依頼 (12 月～1 月)
- ③ 国際交流事業の各プロジェクトのために助成金申請、賛助寄附の募金

(18) 2017 年度年報 (1000 部) (1,000 千円)

(19) 公益財団法人、在日留学生支援団体との情報交換と交流 (300 千円)

- ・ 留学生奨学団体連絡協議会 (JISSA) <幹事>  
※東フィル鑑賞券の無料配布 (20 回で計 50 枚)
- ・ NPO 法人 国際教育交流協議会 (JAFSA)
- ・ 留学生教育学会 (JAISE)
- ・ (公財) 助成財団センター (JFC) <評議員>
- ・ (公財) 公益法人協会

■その他

(20) 理事会と評議員会

第 25 回理事会 2018 年 5 月中旬 (会場は未定)

第 9 回評議員会 2018 年 6 月 7 日 (木) (於：鹿島建設 K I ビル中会議室)

第 26 回理事会 2018 年 12 月上旬 (於：渥美財団ホール)

第 27 回理事会 2019 年 3 月 2 日 (土) (研究報告会の前に)